▼コンバントリン錠 ・▼ドライシロップ ［内］

【重要度】 【一般製剤名】ピランテルパモ酸塩 Pyrantel Pamoate 【分類】広域駆虫剤
【単位】▼100mg/錠，▼10%DS
【常用量】1回 10mg/kg［最大 500mg］
【用法】1回のみ
【透析患者への投与方法】消化管から吸収されにくいため常用量（5）
【保存期 CKD 患者への投与方法】消化管から吸収されにくいため常用量（5）
【特徴】回虫，鉤虫，鞭虫，線虫などの駆虫薬．虫体の神経・筋接合部の機能障害による運動麻痺によって駆除効果をあらわす．
【主な副作用・毒性】腹痛，悪心，頭痛，倦怠感，眩暈，下痢，頭重感，胃部膨満感，食欲不振，嘔吐，便秘など
【吸収】ほとんど吸収されないが，吸収されると血中にはほとんどが代謝物として検出される（1）吸収率は非常に低い（11）
【代謝】thiophene acrylic acid または N-methyl-1，3-propanediamine に代謝され、thiophene acrylic acid はさらに 4keto-2-heptenedioic acid および thiophene carboxylic acid に代謝され，さらに 4keto-2-heptenedioic acid は levulinic acid に代謝（11）
【排泄】糞中排泄が主．尿中には 1～3%が排泄（1）
【MW】594.68
【透析性】資料なし（1）
【更新日】20240814

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。